



## 研究テーマ

## 1 市町村の地域政策に関する研究

## 2 都道府県の地域政策に関する研究

## 3 オリジナルな「地域政策学」の確立

## 入谷 貴夫

いりや たかお  
地域資源創成学部  
地域資源創成学科  
財政学・地域経済学

教授

## キーワード

環境と地方自治の世紀  
維持可能な発展  
自治体財政  
地域の政治経済制度  
3層の循環構造  
市町村の産業連関分析

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など

## 研究概要

地域の政治経済制度とそれに根ざす 3 層の地域循環構造(「地域経済循環」「公共・民間循環」「環境・社会循環」)の理論的・数量的な把握というオリジナルな視点から、「環境の世紀」「地方自治の世紀」に相応しい維持可能な地域社会のあり方(=地域政策)について、理論研究とフィールドワークを進めている。

## 1 市町村の地域政策に関する研究

全国の 4 つの市町村の地域経済と地域政策を実証的に分析した。

①綾町は、人口約 7,500 人、森林面積 80%、耕地面積 8%、その他 13%の土地に住居や公共施設がコンパクトに集中している。森林の 44%が国有林であり照葉樹林が保全されている。自治公民館運動により照葉樹林を保全し自然生態系との共生をめざした産業観光(地域的エコツーリズムシステム)、有機農産物を柱とする地域的フードシステムを形成している。

②諸塚村は、九州山地の中央部にある山村である。明治 40 年の「林業立村」の村是のもと、木材、椎茸、畜産、茶の 4 大産業と交流事業の複合経営を行い、地域的ウッドシステムを中核に地域的フードシステムを包含している。また、木材産地ツアーを起点とした地域的エコツーリズムも重要な柱になり進化している。

③梶原町は、西日本における家族労働型の林業経営が多い新興林業地として地域的ウッドシステムを中核とし、今日では、木質ペレットをはじめ小水力発電などの自然エネルギーによるまちづくりを進め、木質バイオマス、風力、太陽光、水力、地熱など地域にある各種の資源を全て活用して地域的自然エネルギーシステムを形成している。

④帯広・十勝は、農業の国際化と公共事業の減少が進むなかで、中小企業振興基本条例を制定し中小企業振興と産業振興の一体的な取り組みを開始した。産業振興ビジョンを策定し、小麦等を柱とする地域的フードシステムを中核に地域的ふーどツーリズムシステムと地域的自然エネルギーシステムを統合している。

## 2 都道府県の地域政策に関する研究

2 つの都道府県の地域政策を実証的に分析した。大分県では「拠点開発方式」により臨海部の重化学工業は県外・海外との産業連関を創出したが県内では産業連関は生まれなかった。これに対して、京都府では「根幹的事業方式」により府内の地域産業と地域経済の均等発展を創出した。このことから、府県では広域機能の活用の仕方が分水嶺となることを明らかにした。

## 3 オリジナルな「地域政策学」の確立

上記1と2の研究に加え政策理論の代表的な理論家・実践家である W.ペティ及び前田正名の学説の研究を踏まえて、「地域の政治経済制度に根ざす 3 層の地域循環構造の創造とそのマネジメントの理論」、及び「下から(地域から)の構築する地域政策の理論」というオリジナルな地域政策理論を確立した。

## ホームページ

地域資源創成学部 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/atrium/>

## 技術相談に応じられる関連分野

- ・市町村の産業連関表の作成
- ・産業連関分析による各種政策の経済波及効果分析
- ・行政評価と事務事業評価

## メッセージ

あなたの町の産業連関分析により様々な政策の経済波及効果を分析することができます。ご希望がありましたら気軽にご相談ください。